


 RI会長
バリー・ラシン

インスピレーションになるう

まるがめ

週報

 会員数 60名
欠席者

 出席者41名・欠席者16名・免除会員3名
秋山恒・天野・麻田・林・石合・和泉享・加内・岸上・森・松山・眞鍋
中野昌・野口・中野和・谷本・稲田・会員

前々回出席率 82.76% (12/20)

 2019.1.17
Vol.56
№26
(2737)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会長 川原 一夫
幹事 福田 洋子
会報委員長 岡田 将一郎

お知らせ

- 1月のプログラム
3 (No.1)-休会
10 (No.2)-新年例会
17 (No.3)-クラブフォーラム
24 (No.4)-役員委員長半期報告
31 (No.4)-会員卓話

- 他RC例会変更
坂出東 2/13→2/2 清掃活動

- ニコニコBOX;
祝誕生月
山内光君 曾川君 大熊君
祝結婚月
夏見君
よいことがありました
橘君 秋山憲夫君
IMの案内に参りました。ぜひ
ご出席をお願いします。
琴平RC 橋本様 高田様
新年例会では藤井高校の書道
部にパフォーマンスをする機械を
頂きありがとうございました。
藤井君

<ニコニコ会計累積/ ¥283,823>

- がんばるBOX;
出席できなくて
塩田君
早退します
後藤君
下手な卓話を聞いて頂きありが
とうございました
吉田君
忘年家族会合同新年会へのご
参加ありがとうございました
尾崎君

例会場・事務局 丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

アーノルド・J・トインビー(1889~1975)の言葉

イギリスの「20世紀最大の歴史家、文明の興亡の視点から、歴史を論じた歴史家
です。文明が「発生、成長、衰退、解体」を終えて、次の文明に移行するという一種の
法則を見つけ出しました。「歴史」を見る時の教科書のような存在の人です。

滅亡した民族の3つの共通点

理想を失った民族は滅びる。

すべての価値を物やお金に置き換えて、心の価値を見失った民族は滅びる

自国の歴史を忘れた民族は滅びる

注: どれか一つでも当てはまればその民族は滅びる

■幹事報告

1、次回例会(1月24日)は役員、委員長半期報告となっております。

出席及び発表をお願いします。

2、例会のあと定例理事会があります。

■理事会報告

1、2月、3月のプログラムについて承認 (3月28日IM報告)

2、善行表彰について

今現在5組の推薦を受けています。もう少し増やしたいので校長会に再度依頼
してます。当クラブの会員の方からの推薦もお願いします。

■例会事業;クラブフォーラム;吉田職業奉仕委員長

ロータリーの歴史からお話しさせていただきます。

1905年2月23日木曜日小雪まじりの寒い夜、シカゴのイリノイ街

18にあったポールがお気に入りの店マダム・ガリで石炭商のシルベスター・シール氏と一緒に夕食を摂りながら、ロータリーク

ラブ結成の話をしておりました。その後鉾山技師ガスターバス・

ローア氏の事務所へ行き、そこで洋服商のハイラムショーレー

氏と共にロータリークラブ設立の為の会合がひらかれたのです。

そこでロータリークラブが生まれました。



今まで一業種一会員そして例会出席の2つの柱は、元々は親睦の為にやっていた原則
であるがそれにせつかく集まるのであれば「世の為、人の為に成る事をやろうじゃな
いか」という事から2本目の柱、社会奉仕の理念が加わりました。

翌年1907年ポールハリスがシカゴロータリークラブ3代目の会長に就任して、シカゴ市
内に公衆便所設置に向けての運動が始まり1909年設置完了し初めての社会奉仕を実
施しました。

世界中のロータリーの、組織を象徴する為考案された歯車は、1905年ロータリー誕生
の歳に、シカゴロータリークラブで採択され生まれました。

それから2/23から1カ月後1905年3月23日の例会時に5人目のロータリアン印刷会社
経営のハリラグス氏が入会しました、この方は歌を歌うのが非常に好きな方でした
シェルドンさんが入会して以来、毎回の例会時に、ポールハリスさんと繰り返される奉
仕の哲学と拡大の必要性を説く、白熱した議論の雰囲気や和らげる為彼が一言、言
いました。

2019.1.17
Vol.56
№26
(2737)

新年を迎えて
竹内君
琴平RC橋本様高田様をお迎え
して

川原君 福田君
平成が終わる2019年、独身も
終えたいです
藤井君

<がんばる会計累積/¥242,000>

「どうだい例会にみんなが集まるのであれば歌を歌おうじゃないか」その時にその案は即決したようです。その後、彼の指揮でロータリーソング「唱歌」の習慣が始まり、今現在に至っております。そして1910年頃には歌曲集も作成されております。又非常に親睦に力を入れた方だという記録が残っております。

まさに、ハリーラグルス氏入会の日(1905年3月23日)の会合で名称が検討されました。最初の案はブースタークラブという案がでました。→ラウンドテーブルクラブ→ザ・フェロシップクラブ→ザ・ブルーボーイズクラブ→シカゴサークル→FFFクラブ→メン・ウィズクラブ→後4つ立候補が有り最後に誰が発言したのか、記述されておりましたが、例会の場所を会員の事務所を使って輪のように順番に回って行ったことから、ロータリークラブという名称に決まったそうです。そして、今と同じ様に会員身分も役職も1年限りでローテーションすることも決めましたそうです。

出来たきっかけ原因というのは、その当時のシカゴは、犯罪、汚職、暴力のそうくつで利己主義、悪徳商法が横行していましたので、商取引のモラルがあまり高いものではなく信頼できる商売相手を探したい又は信頼できる友人を作りたいというのがきっかけでございました。

その時ポール・ハリス氏は同業者の組合にも、参加していたのですが、利害関係が激しい同業者の組合では、良き友人関係を築くことができないという事で、一業種一会員の原則で、お互いの利益の為だけの話ができる、仲間作りの親睦から始まったようでございます、当初の信念は、相互控除と相互扶助と親睦の団体という事で始まりました。

尚先程も申し上げましたが2月23日はロータリー創立記念日でございます。

1908年2人の偉大なロータリアンが入会します。

チェスリー・ベリーさん、国際ロータリーの初代事務総長で、その役職を32年間勤めロータリークラブの組織拡大の最大の功労者であります、そして「職業は社会に対する機会である」と職業奉仕の重要性を強調した方でもあります。その年一緒に入会したのが、あの有名なアーサー・F・シェルドン氏、職業分類はビジネススクールの経営者の方でございます。チェスリー・ベリーさんはシェルドンさんの考えにもすごく感銘を受けたのでこのシェルドン氏の理論をよく各地で公演していたそうです。

初期のロータリーの理念、物質的相互扶助からの決別を加速させたのは1908年40歳の時に、シカゴロータリークラブに入会したアーサー・フレデリック・シェルドンなのです。物質的相互扶助の代わりに当時誰もが考え付かなかった奉仕の理念をロータリーに提唱しました。

会員の事業の発展という目的をそのまま温存し、その具体的な方法従来の物質的相互扶助から継続的に利益をもたらす顧客を確保することによって事業を発展させようという経営学に基づいた販売術に転換したのです。

ロータリーがこの考え方を採択して物質的相互扶助から決別したことによってその後華々しい発展を遂げる事となります。